

学校だより



筑前町立夜須中学校

令和3年2月3日 第7号

文責 校長 木村文彦

本年度もあとわずかになりました

3学期は1年間のまとめの学期ですが、慌ただしく1ヶ月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が出されています。学校においても感染症対策を行いながらの教育活動を進めています。1年生は総合的な学習における福祉体験、2年生は修学旅行、3年生は進路獲得に向けて頑張っています。本年度もあとわずかになりますが、ご支援とご協力をお願いいたします。

立志式を行いました！

1月29日(金)に立志式を開催しました。立志式とは「江戸時代の元服にちなんで、数えの15歳を御祝いする行事」です。夜須中学校では、この立志式を「将来の目標や決意などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める」という目的をもって開催しています。本来であれば、保護者の皆様にもご出席いただき、立志生の「志」を聞いていただきたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止から、2年生の生徒と先生方のみで行いました。この日までに2学年では立志式実行委員会を中心に計画を立て、様々な準備をしてきました。各クラスでは、全員が立志作文を書き、クラスにおける発表会を経て、代表2名を決めました。立志式の本番では、厳粛な雰囲気の中、8名の立志生の発表及び代表による誓いの言葉が述べられました。この取組を通して、自分の将来を考えるとともに、来年度は最上学年として夜須中学校をリードしていくという決意をもつことができたと思います。



卒業生が活躍しました！

昨年の12月に京都の都大路で行われた全国高校駅伝に宮崎県の小林高校から出場した、倉掛響君、渡辺大喜君、大坪沙代さんが夜須中学校に訪問してくれました。全国大会に、同時に3人も選手が出場するのはおそらく初めての事だと思います。大坪さんは2年連続の出場、倉掛君と渡辺君は3年生になり念願の全国大会を勝ち取ることができました。親元を離れ競技を続けることは相当な決意があったことだと思います。最初は不安なことも多かった事でしょう。怪我で苦しんだことや思うように記録が伸びず悩んだ事もあったそうです。数々の試練を乗り越えた本年度は見事にアベック出場を果たしました。高校卒業後は、倉掛君と渡辺君は関東の大学へ進学、大坪さんは実業団に入り競技を続けるそうです。箱根駅伝や実業団駅伝で3人の勇姿を見ることができるのを楽しみにしています。

